

# 栗原地域だより

第 36 号

平成 30 年 3 月 1 日発行

## 目 次

- 「金田火伏せまつり」ボランティアを募集します！ p1
- 「苔の産地化」を目指した取り組みを始めました p2
- 子どもの健康なからだづくりに関する研修会を行いました p3
- 土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会を開催しました p3
- 「栗原の食材を知る！産地見学ツアー」を開催しました p4
- 平成 29 年度第 2 回農地集積研修会を開催しました p5
- 栗原市畜産講演会が開催されました！ p5
- 栗駒稲屋敷地区の交差点改良工事が完了しました p6
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p7

花山ダム湖畔から望む桜



## 「金田火伏せまつり」ボランティアを募集します！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、中山間地域等の農山村集落の活性化を図ることを目的に、援農ボランティアや都市農村交流の実施体制づくりを支援しています。

このたび、栗原市一迫金田地区で 4 年に 1 度行われる「金田火伏せまつり」にて、山車づくり・山車引きなどの作業を支援していただけるボランティアを募集します。

この「金田火伏せまつり」は、伊達家宿老・遠藤公が金田地区を治めていた藩政時代からの伝統行事で、約 250 年の歴史があります。祭り当日は、地域住民総出で製作した山車を、川口囃子に合わせて掛け声をかけながら運行するほか、手踊り、獅子舞、鹿踊、神楽など地区の郷土芸能が一堂に集まって地区内を練り歩きます。金田地区には酒蔵や歴史のある桜、美しい水田景観があり、地域の方々とふれあいながら、たくさんの歴史や伝統的技術についてお話を聞くこともできます。

ぜひ、「金田の火伏せまつり」の準備と祭りに参加してみませんか？皆さまのご参加をお待ちしています！



「火伏せまつり」の様子



集合写真

<日時>①平成 30 年 3 月 25 日 (日)

②平成 30 年 4 月 8 日 (日)

※両日とも、午前 9 時 30 分 (開会) から午後 3 時 (解散予定) まで

<活動内容>① 山車づくり・飾り付け

② まつり参加（山車引き・金田地区練り歩き）

<集合場所>一迫環境改善センター（栗原市一迫字川口中野 30）

※JR 仙台駅東口から現地までの無料送迎バスを運行します。

（送迎バス利用の際は、仙台駅東口・観光送迎バス乗降場に午前 7 時 30 分まで集合してください）

※送迎バス利用者の受付は先着順とし、定員（20 名程度）に達し次第、受付を終了させていただきます。

なお、ボランティアの詳細及びお申し込みにつきましては、下記のホームページをご覧ください。

★『金田火伏せまつり』ボランティアを募集します！（農業農村整備部ホームページ）

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/h29-kanedahibusematsuri.html>

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel：0228-22-2398

「苔の産地化」を目指した取り組みを始めました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、栗原地域の豊かな自然環境を生かした山間地域の産業の活性化を図るため、県内ではこれまで活用事例のない「苔」を新たな森林資源として活用し、地場製品の産地化を目指す取り組みを今年度から始めました。

昨年 10 月には専門家を講師に招き、栗原市栗駒文字地区において、地区の方々の参加のもと、苔の生態や栽培方法に関する講習会を開催しました。参加された方々からは、「苔が栽培できるとは知らなかった」、「苔はよく見ると可愛らしい」などの感想が寄せられ、苔の栽培に関する興味をもっていただくことができました。

今後は、栗原地域の環境に合った栽培方法を確立するため、地域の方々や関係機関等と連携しながら試験栽培等に取り組んでいきます。



講習会の様子



テラリウムの試作

■お問い合わせ 林業振興部 森林整備班 Tel：0228-22-2391

栗原地域だより【2】

## 子どもの健康なからだづくりに関する研修会を行いました

北部保健福祉事務所栗原地域事務所

1月30日、「次世代を担う連携研修会」をエポカ21で開催しました。宮城県や栗原市は、肥満の大人や子どもの割合が多いことが健康課題になっていることから、教育や保育の現場で連携して健康づくりに取り組むきっかけとするもので、小中学校、幼稚園、保育所、行政に勤務する養護教諭や職員など約60名が出席しました。

研修会では、始めに、栗原市民の健康状態（肥満、病気、死因など）の説明を行い、参加者は大人も子どもも課題が多いことを理解しました。

続いて、埼玉医科大学病院小児科 菊池透教授（医師）

から「将来肥満にならないために、子どもたちが身につけるべきもの」と題して、小児肥満に関するご講演をいただきました。講師からは、「小さいうちは太っていても大丈夫」などと大人は思いがちですが、子どもの肥満は、身体と心の成長に問題が起きやすいため、子ども自身が肥満を意識する前に関係者が生活指導などの対策をすることが重要とお話がありました。

参加者からは、「妊娠期や乳幼児期からの体重管理や生活習慣が将来の健康につながることをあらためて知ることができ大変参考になった」、「家庭や関係者と連携をとりながらアプローチしていきたい」との感想が多数あり、実践に役立つ大変有意義な研修会になりました。



研修会の様子

■お問い合わせ 北部保健福祉事務所栗原地域事務所 成人・高齢班 Tel：0228-22-2116

## 土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会を開催しました

北部土木事務所栗原地域事務所

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）」が平成13年4月1日に施行され、宮城県においても土砂災害から皆様の生命・身体を守ることを目的として、同法に基づく「土砂災害警戒区域等」の指定を進めています。

栗原市内では、518カ所の土砂災害危険箇所が確認されており、現在、275カ所が土砂災害警戒区域等に指定されています。

このたび、区域指定に必要な基礎調査（※）が完了したことから築館地区、栗駒地区の合計19カ所を対象に、1月23日（築館地区）と25日（栗原地区）に調査結果説明会を開催しました。大雪のため足元が悪い状況にも関わらず、合計43名の方に参加いただきました。深く感謝申し上げます。今後、栗原市の意見聴取を行い、3月中に指定完了となる見込みです。

なお、当事務所では、残る箇所の早期指定に向け、現在、金成地区、一迫地区、花山地区などにおいて基礎調査を進めています。

※ 基礎調査とは、土砂警戒区域等指定のため、溪流や斜面及び土砂災害により被害のおそれがある区域の地形、地質、土地利用状況等に関する調査のことです。





築館地区（栗原市築館総合支所会議室）



栗駒地区（栗原市栗駒総合支所大会議室）

■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班 Tel：0228-22-2193

### 「栗原の食材を知る！産地見学ツアー」を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市内には、多様な農林水産物や食材の特徴を生かした加工食品があります。この栗原地域の農林水産物や加工食品の認知度向上や栗原市外への販路拡大を支援するため、仙台都市圏等の食関連事業者の方を対象に、栗原市内の生産現場に案内する「産地見学ツアー」を2月4日に開催しました。

見学ツアーでは、しいたけやパプリカ、水耕野菜（ケール、サンチュ等）といった、年間を通して安定した生産・出荷が望める食材と、れんこんやアロエといった県内でも珍しい食材等の生産現場を見学しました。また、参加者



れんこん畑を見学

に見学した食材を含む栗原地域の食材を「食材王国みやぎ 地産地消推進登録店」にて味わい、直売所で購入してもらうことで、食材の味や品質を確かめていただけるような行程でツアーを行いました。

参加者は農林産物の販売や紹介、調理や商品開発に生かしていきたいという熱意を持って参加しており、各見学先で生産者の方から栽培の背景や過程、こだわりについて積極的に質問をしていました。

ツアー終了後、生産現場を再度訪れたいというご連絡をいただいた参加者もあり、当事務所では本見学ツアーを通じて生まれた生産者と参加者との繋がりを支援するとともに、今後も栗原産食材の販路拡大に向けて取り組んでいきます。

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

## 平成 29 年度第 2 回農地集積研修会を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

当事務所では、栗原市内の農地整備（ほ場整備）事業実施地区において、効率的な経営に向けた大区画ほ場の農地整備と併せ、収益性の高い作物の導入や、担い手の育成も図っています。

北部地域（大崎・栗原）は、県内でも農地整備済み面積が特に広く、県内全体のおよそ 4 割以上を占めており、法人化を目標としている農地集落営農組織が数多く設立されています。このような農地集落営農組織が今後、法人組織に発展するための支援等を目的とした農地集積研修会を、北部地方振興事務所と栗原地域事務所の共催により、大崎合同庁舎大会議室にて 1 月 10 日に開催し、約 140 名が参加しました。

研修会では、トヨタ自動車東日本株式会社ものづくり研鑽室の酒井学氏から組織的営農の効率化のヒントとなる「農業現場の業務改善への取り組み」について、農事組合法人 i ファーム三浦章彦氏と農事組合法人羽山の里佐野代表理事の矢吹純一氏から「法人経営の実践事例」についてご講演いただきました。参加された方々は熱心に講演を聞くとともに、講演者に積極的に質問をしていました。研修後のアンケートでは「法人運営に関する具体的な話が聞けて良かった」等の感想が多数寄せられており、農作業改善に対する意識や法人化への意欲向上に繋がることが大いに期待されます。



研修会の様子



酒井学氏のご講演

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel : 0228-22-2398

## 栗原市畜産講演会が開催されました！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

2月2日、この花さくや姫プラザ（栗原市志波姫）を会場に「栗原市畜産講演会」が開催され、畜産農家や関係機関の職員など約 90 名が参加しました。

今回の講演会は 3 人の講師をお招きし、ご講演や事例発表を行っていただきました。

始めに、公益社団法人全国和牛登録協会専務理事兼事務局長の穴田勝人氏から「第 11 回宮城全共の結果からみた栗原管内育種改良について」と題し、地域の育種改良の特徴や今後の取り組みの方向性についてのお話がありました。

次に、宮城県農業共済組合県北家畜診療センター獣医師の新井偉典氏から、「子牛の病気予防」について、生産現場における飼養管理を含めた疾病予防対策に関してご講演いただきました。



最後に、栗っこ農業協同組合営農部畜産センター繁殖牛グループの熊谷明俊氏から、『全国和牛能力共進会 日本一』を目指した栗原地域の取り組み」と題し、平成 29 年 9 月に開催された全共宮城大会に向けた地域の取り組み内容が紹介されました。

栗原地域の畜産業が進むべき未来や畜産農家と連携して取り組んでいく方向性が提言され、大変有意義な講演会となりました。



3名の講演者の方々



参加した畜産農家の方々



穴田勝人氏のご講演

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel : 0228-22-2487

栗駒稲屋敷地区の交差点改良工事が完了しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

一般県道大鳥沢辺線と一般国道 457 号及び主要地方道栗駒岩出山線の 3 路線が交差する栗駒稲屋敷の交差点は、道幅が狭く長年ご不便をおかけしておりましたが、地域の方々のご協力をいただき、平成 29 年 9 月から改良工事に着手し 1 月に無事完成しました。

交差点の改良により、円滑で安全な通行が期待されます。



交差点改良工事の完了  
(大鳥沢辺線側から鶯沢方面を望む)

■お問い合わせ 北部土木事務所栗原地域事務所 道路建設班 Tel : 0228-22-2189

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 29 年 12 月 18 日～平成 30 年 2 月 16 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

12 月 18 日から 2 月 16 日までの間に農林産物 21 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値 (100 ベクレル/kg) 以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

なお、栗原市産のごこみ、こしあぶら、たらめ(野生)、野生きのこの 4 品目の山菜類は、出荷制限指示を受けており、市場や直売所等には出荷できません。

(原木しいたけ(露地)、たけのこについても、出荷制限が続いています。ただし、これらは一部地域(登録生産者)のみ出荷できる状況です。詳しくは林業振興部にお問い合わせください。)

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの (12/18～2/16)

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
赤カブ (2点)	—	◎				
かぼちゃ	—	◎				
キャベツ	—	◎				
ごぼう	—	◎				
こまつな	—	◎				
さつまいも	—	◎				
さといも	—	◎				
じゃがいも (2点)	—	◎				
だいこん	—	◎				
たまねぎ	—	◎				
にんじん	—	◎				
ねぎ (2点)	—	◎				
はくさい (5点)	—	◎				
葉たまねぎ	—	◎				

◎：基準値以下

—：検査未実施

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を  
ご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel: 0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel: 0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284

E-mail: [nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp](mailto:nk-khsinbk@pref.miyagi.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号 (第 37 号) は平成 30 年 5 月 1 日発行予定です。